

令和元年度 行政評価2次評価結果に関する対応状況

施策名	生きがいきつくりと社会参加の促進
-----	------------------

(2) 予算事業評価

予算事業名 〔室課名〕	予算事業の今後の方向性					2次評価結果に 関する対応 【令和2年度】
	1次評価(担当室課)		2次評価(行政評価委員会)			
	事業の概要と課題	今後の 方向性	議 論 の 中 心 事 業	行政評価委員会 委員等の主な意見	2次評価結果 (総合評価・評価結果の説明)	
1 寿祝品贈呈事業 〔高齢福祉室〕	<p>【事業概要】 米寿(88歳)、白寿(99歳)を迎える高齢者に対し祝品(おこめ券)を贈呈。民生・児童委員が戸別訪問し配付する。 <平成30年度実績> 贈呈者数 米寿 1,245人 白寿 99人 単価 米寿 4,849円 白寿 7,759円</p> <p>【課題】 今後ますます高齢化が進む中、高齢者人口の増加に伴い、事業費が拡大していく見込みである。</p>	継続	○	(1)事業費の規模から考えると、市民の理解を得られる範囲ではないか。 (2)記念品や祝品を贈呈される側にとってニーズのある事業なのか検証するべきではないか。 (3)寿祝品贈呈事業は、民生・児童委員にとって高齢者とコンタクトを取る手段の1つとなっている点で意義がある。生存確認などの目的があるなら、ボランティアの方に年齢制限なく補助を行うような方法を検討するなど、従来と異なる視点で取り組んでみてはどうか。 (4)100歳を節目として記念品を贈呈するまでは理解できるが、その後毎年贈呈する必要はない。 (5)高齢者の見守りということが事業の隠れた目的であるならば、事業を見直し、再構築する必要がある。	再構築	<p>関係団体(民生・児童委員協議会役員)から意見聴取を行ったところ、祝品贈呈の対象年齢について疑問の声があり、その後内部協議を行った。 長寿祝賀については、対象者を100歳に限定し、一人当たりの単価を3万円に増額し、記念品から祝金に変更する予定である。 また、寿祝品贈呈については、長寿祝賀との統合により廃止する予定である。</p>
2 長寿祝賀事業 〔高齢福祉室〕	<p>【事業概要】 100歳以上の高齢者の代表者へ市長訪問を行い、記念品を贈呈する。その他の100歳以上の高齢者には毎年市から記念品を贈呈。100歳の高齢者には市が直接配付、100歳以上の高齢者には郵送。また、結婚50年を迎える夫婦に申請に基づき、祝状を贈呈。</p> <p><平成30年度実績> 1 100歳以上高齢者 贈呈者数 150人 記念品 デジタル置時計 単価 2,550円 2 結婚50年を迎える夫婦 贈呈者数 143組</p> <p>【課題】 超高齢社会において、事業対象者が増加しており、それに伴い事業費が拡大していく見込みである。</p>	継続	○	今後対象者の増加が見込まれる中で、事業を持続可能なものとするため、両事業を統合し、贈呈者を米寿(88歳)と100歳に限定するなど、対象者、贈呈手法を見直し、再構築を行うこと。	再構築	

令和元年度 行政評価2次評価結果に関する対応状況

施策名	低炭素社会への転換の推進
-----	--------------

(2) 予算事業評価

	予算事業名 [室課名]	予算事業の今後の方向性					2次評価結果に 関する対応 【令和2年度】
		1次評価(担当室課)		2次評価(行政評価委員会)			
		事業の概要と課題	今後の 方向性	議論 の中 心事 業	行政評価委員会 委員等の主な意見	2次評価結果 (総合評価・評価結果の説明)	
5	環境まちづくり基金積立事業 [環境政策室]	<p>【事業概要】 先進的な省エネ機器の導入の推進及び促進など、環境先進都市の実現に向けた環境施策の推進を図るために、平成30年度から積み立てを行っている。</p> <p>【課題】 環境まちづくり基金の財源となっている電力調達の効果額の積み上げが令和2年度になくなるため、本基金を継続的に活用するためには、新たな財源の確保が必要である。また、本基金を活用し、継続的かつ効果的に展開することができる事業を検討する必要がある。</p>	継続	○	<p>(1)家電の買替に対する補助は、国においては経済対策や技術革新のための施策であり、自治体レベルで行っても、施策への貢献の観点からは、効果は薄い。</p> <p>(2)基金をどんな事業に活用するのかを明確にした上で、基金の積み立てを進めるべきである。</p>	改善見直し	<p>令和2年度に、関係部局と協議を行い、基金の繰入れ方法等について取り決めた。今後は、この取り決めに基に、基金の繰入れ計画を作成し、施設の省エネ化等の環境基本計画の目標達成に寄与する事業に積極的に本基金から繰り入れる等、適切な運用を行い、先進的な環境施策を推進していく。</p> <p>令和3年度は、本庁舎ESCO事業、公園灯LED化、北千里小学校跡地複合施設整備、能勢町連携に本基金から繰り入れる予定である。</p>